

図-6 2次系配管の点検等

点検概要

今定期検査において、合計989箇所について超音波検査(肉厚測定)等を実施する。  
 (超音波検査(肉厚測定):947箇所、内面目視検査:42箇所)

○2次系配管肉厚の管理指針に基づく超音波検査(肉厚測定)部位

	「2次系配管肉厚の管理指針」の点検対象部位	今回定期検査開始時点での未点検部位	今回点検実施部位	今回点検実施後の未点検部位
主要点検部位	1,406	0	333	0
その他部位	1,764	0	614	0
合計	3,170	0	947	0

○2次系配管の管理指針に基づく内面目視点検

高圧排気管の直管部42箇所について、配管内面から目視点検を実施する。  
 その結果、配管内面に減肉が認められれば、超音波検査(肉厚測定)を実施する。

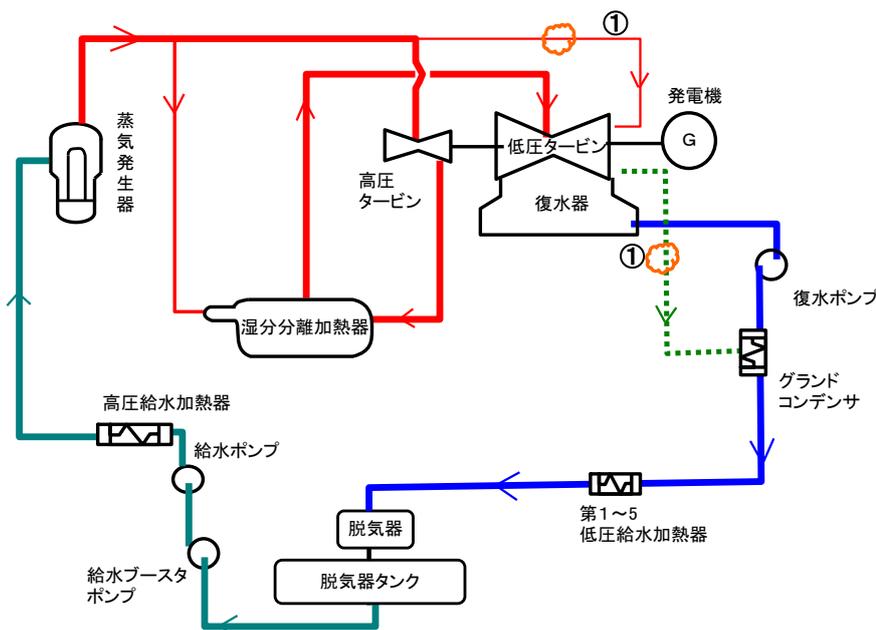
取替概要

○今後の保守作業を考慮し、115箇所の配管を耐食性の優れたステンレス鋼もしくは低合金鋼の配管に取り替える。

系統別概略図

復水系統		主蒸気系統	
給水系統		ドレン系統	

: 主な配管取替箇所



【取替理由】

① 今後の保守性を考慮して取り替える。(115箇所)

炭素鋼 ⇒ ステンレス鋼 16箇所  
 炭素鋼 ⇒ 低合金鋼 99箇所

合計 115箇所

(参考)

保安院の指示文書(平成19年11月)で示された方法で、1回測定 of 配管曲がり部などについて余寿命評価をした結果を踏まえ、今定期検査において、46箇所を肉厚測定し、3箇所の配管を取り替える。(測定箇所および取替箇所は、上記箇所数に含まれる。)